

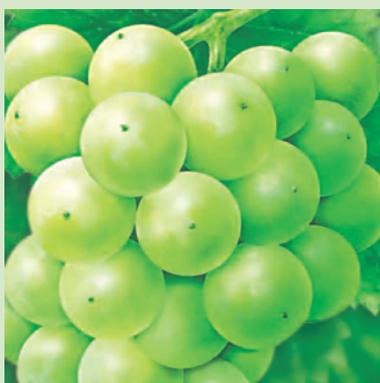
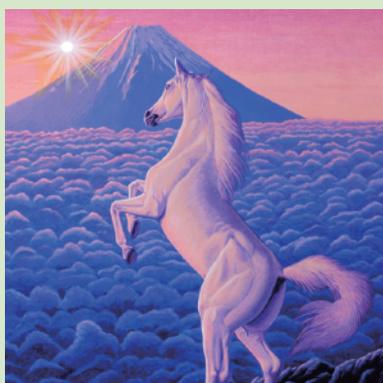
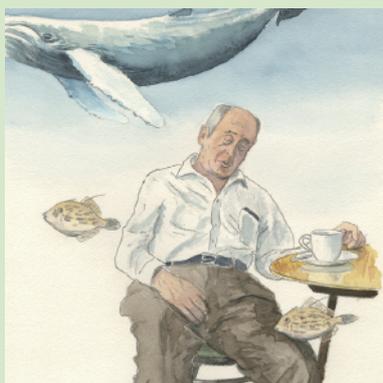
2014年 No.10

日本イラストレーター協会

会報

jia
Japan
Illustrators'
Association

日本イラストレーター協会では、日本全国あるいは世界各地で活躍している皆様にJIAの活動を様々な形でお知らせしています。今後の活動の中心となる新年度の理事をご紹介します。



※目次

- P.1 表紙
- P.2 理事挨拶 いたう良一(東京都) 内野僚子(東京都)
- P.3 理事挨拶 すずきかずたか(東京都) 田積正敏(東京都)
- P.4 理事挨拶 田中しのぶ(大阪府) まるやまみこ(新潟県)
- P.5 理事長挨拶と2013年度の会計報告
- P.6 2013年度のイベント報告
- P.7 2013年度と2014年前期のイベント報告
- P.8 JIAの歩みと2014年のイベント(予定)



理事 いとう良一
(東京都)

皆さんこんにちは。展示会担当理事として二年目の理事を務めさせて頂きまして「いとう良一(りょういち)」です

昨年秋の協会展、この春の「東京新湯巡回展」と、たくさんの皆様に参加していただき、ありがとうございます。

自分はイラストレーターになる前から毎年個展やグループ展をやってきました。イラストレーターが生業になってからも、毎年欠かさず展示会を開催したり参加したりしております。意外にイラストレーターは展示会に参加しなくてはならないという人が多いですね。有名なイラストレーターでも、晩年になってから「初個展」というケースも耳にします。

展示会をやってきて、今年で20年になります。個展、グループ展を合わせると80回近くになります。特に秋の個展は自分にとっても、毎回のように来てくれる方々にとっても、一つのイベントになっている、間に友人のミュージシャンによるミニライブもやるので、欠かせない風物詩にもなっています。強く感じるのは、観に来てくれる方や支持してくれる方がいるからやってくる、ということ。仕事はイラストレーターなので、イラストを描いて収入を得ることも大事ですが、そういう人のつながりもとても大事だと感じています。仕事をいただいたクライアント様が観に来てくれたり、どこかで展示会の情報を知って観に来てくれたクライアント様とお仕事のつながりになったり、自分には欠かせないアピールと繋がり場の場にもなっています。



展示会をやる目的というのは人それぞれです。フライングで絵を売ることというのが大きき目的になります。私の場合はイラストレーターということもあり、売ることが目的にしています。もちろんそれなりに売れば助かるし嬉しいものです。でも一番の目的は「知ってもらう」事。絵が完売してもただそれで終わったら、自分にとっては何の意味もありません。むしろ一枚も売れなくても良いから、そこから何かにつながるモノが欲しいのです。仕事に直結するクライアント様が観に来てくれたら一番嬉しいし、意外な方面の方が観て気に入って来てくれる展開になったことも多くあります。通常の営業活動では得られない事も多いです。また一般の方が見てくれて率直な感想を伝えてくれたり支持してくれたり、毎回少しずつ人の繋がりを広げてくれます。

毎年開催する協会展等は、安価に参加できる展示会です。少しでも自分をアピールしたり世界を広げる場になるかもしれません。自分でギャラリーを借りて展示会をやるといのは、それなりの出費になります。どんな所でいくらでどんな展示ができるのか、というのもゼロからだとわかりにくいでしょう。協会の展示会は手軽に参加できるので、とりあえず出品してみようというの有りです。やってみなければわかりませんが、大きなチャンスにつながるかもしれません。



理事 内野僚子
(東京都)

JIAの皆さんこんにちは。六期目の理事を務めさせて頂くことになりました「内野僚子」Ryoと申します。

今期は事務局の仕事に加え、初めての海外広報部の担当を拝命する事になりました。まだ慣れない試行錯誤の英文の作業からですが、国内外に、JIAの活動を発信し、より良い交流が出来れば、と願っております。何卒、宜しくお願い致します。

自己PRが不得手で口下手な私が広報部?と私をご存知の方は不思議に思われるかもしれませんが、最近になって、色々な職業の方々から御会いする機会を得て、自分の内に、活動のイメージのスイッチを見つけた様です。

時代は20年前に逆上ります。私はその頃迄に会社にデザイナーとして勤め、出張や個人で海外へ出掛ける機会が多くなりました。会社からの国内外の見本市に参加、個人ではSDP(アメリカ・デコラティブペインティング協会)のカンファレンスに出席後、3年目にデコラティブペインターの称号を頂きました。人ごとのように、この頃の行動力は私でも驚いています。華奢でひ弱に見える私に何処からそんなエネルギーが出るの?とよく聞かれた事があります。その時は考えた事も無かったのですが、今思えば何もかも初めての挑戦に「希望」を持っていただけだと思えます。体力や精神力は年齢を重ねるうちに、失ってしまいがちですが、希望は未来にも過去にも持てるものだと思います。



特に北米で2年間に在任した経験は私の人生を逆転させるような出来事ばかりでした。目的があった訳ではないのですが、生活をしながら、文化や言葉、コミュニケーションを学び、その中で自分が見る事でボランティアを始め、得意分野を見せて、自己PRに努めていました。それは自然に出来た事で、誰に教わった訳でもありませんでした。マニュアルが無くても、素直に暮らせば、物事は必然的なのです。

また、先日はJIA事務所にかナダから美大生が訪れました。私は20歳の輝いた彼を見て、忘れかけていた20年前の自分の想いが蘇りました。言葉が違っても、イラストは感情や心を伝える事ができる、素晴らしい世界共通語です。時代や年齢を超えて、楽しい交流が出来たと自負しております。

広報は広告では無く、今活動している事を発信し、理解して頂くものです。イラストレーター個々の役割として自己PR、技を磨く学び、業を成す根拠、そして、その繋ぎとしてのコミュニケーションがあります。楽な仕事に見られる割りに、フリーのイラストレーターは大変なストレスを感じます。それでも先日、知人に「素晴らしいお仕事を御持ちですね」と(お世辞でも)嬉しい事を言われまして。今度は、「誇りに思っています。」とPR致します。(笑)



理事 すぎかずたか
(東京都)

皆さん、はじめまして。
今年度から創設された「児童・学生向けコンペ」の担当理事を務めさせて頂く事になりました「すぎかずたか(鈴木一貴)」と申します。

東京・下町の葛飾生まれ・葛飾育ちです。大学を卒業後、アパレルメーカーと家電メーカーで十三年間営業職に就いていました。営業の仕事をする傍ら「デザイン教室」に通い、POPやイラストの描き方を学ぶうちに自分が子供の頃から絵を描くのが大好きだった事を思い出しました(幼稚園児の頃から新聞の折り込みチラシの裏側に毎日ウルトラマンやテレビアニメのキャラクターなどの絵を描いていました)。営業の仕事でもそれを活かして、商品に手描きのPOP等を貼り付け商品が次々に流れていく様を見て、自分で描く事の面白さを体感しました。

やがてそれを仕事にしようと思って独立したのが四十七歳の時です。幸い私の周りには応援してくださる方が大勢いたので毎日楽しく描かせて頂いています。今はイラストと絵本を描いており、独立したての頃はイラストのポートフォリオを300部位作って出版社に片端から送ったり、絵本の原稿を持って東京都内の出版社という出版社を全部訪問したり、絵本を出版した時には東京都内の全書店を訪問したりしました。そうした行動を通じて、何をどうしたら良いか全くわからないという状況でも、とにかく思った事を行動に移してみると次にやるべき事が自ずとわかってくるものだなあ、という事を実感しました。



また、私は本を読むのが大好きで、専門分野の本以外に、全く異なる分野の本を出来るだけランダムに読むようにしています。そうする事で、記憶の中にあるアイデアとアイデアが結びついて人真似ではない新しい発想が生まれてきます。それこそが自分のオリジナルの発想だと思っています。今回「児童・学生向けコンペ」を提案させて頂いたのも、全国の子供達や学生達にそんな思いを伝えたいから、というのが理由のひとつでもあります。

「児童・学生向けコンペ」の具体的な内容ですが、募集期間は来年の一月から三月までを予定しており、応募方法は従来のコンペと同じ方法に加え、原画での応募も受け付ける予定です。初めての試みという事もあり、出来るだけ多くの出品を募りたいと思っております。既にいくつかの学校から、告知ポスターを貼って頂いたり、チラシを置いて頂くなどの協力を得られる事を確認しております。皆さんにも是非、ご自分の出身校やお知り合いの方達にこのコンペをご案内頂きたいと思っています。

皆さんのご協力を頂きながら、コンペ担当として、また、一会員として日本イラストレーター協会を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願致します。



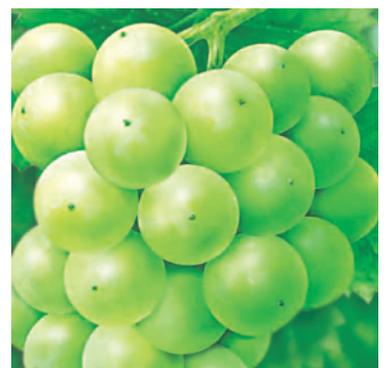
理事 田積正敏
(東京都)

JIA皆様「田積正敏」と申します。今年度、初めての理事を務めさせて頂くことになりました。不慣れなこともあると思いますが宜しくお願いいたします。

私は京都出身です。二十三〜四年前に東京に来て、当時はパッケージのデザイン会社に勤め、デザイン中心の制作を手掛けながらイラストを描いていました。五年間勤めた後、フリーのイラストレーターとなり現在活動しています。

前経験が幸いし、手掛ける仕事は主にパッケージイラストが多く、デザイナーさんや企業とのやりとりでの商品イラストが中心です。基本ベースは自ら得意としていたリアルイラストとなりつつや時には表現技巧を変えてソフトタッチやキャラ的な表現なども商品やニーズに合わせて、テキストを使い分けながら描いています。それ以外に出版関係やデザイン広告など幅広い分野でもイラストを手掛けていけるように努めています。もちろん日々時間に追われながらの仕事です。週末は毎晩遅く、朝までの日々が続くこともこの業界ならではの仕事状態といえます。歳を重ねるとその辺はさすがに辛いです。(笑)

皆さんと異なる点は、パッケージ等でのイラストの扱いは大半がとて小さいもので、大きな一枚画やまとまったオリジナル作品がとて少なく、なかなか制作発表できる機会がないのも現状です。年鑑への掲載作品も限られた中からですが、少しでも多くの方々に観ていただけることを願っています。



私のイラストの仕事はどちらかというと、縁の下の力持ち的な存在ではあります。が、陰の働き手としての価値はとて大きく、これからの誇りを持って続けていきたい仕事であります。

JIA協会会員となり早四年目になりますが「JIAホームページを拝見しご連絡しました」との問い合わせメールも増えてきました。継続は力なり。地道な努力を続けて行くことは何事にも必要だと痛感します。協会を通して様々な交流が広がることも嬉しいことでもあります。

今回、今年の年度賞とコーディネーターを担当させていただきます。どれだけ皆様のご要望にお応えできるかわかりませんが、皆様の作品や活動を幅広く伝える重要な活動の一つとして一層の展開へと導くことが理想だと考えます。これからの時代は、これまで以上にイラストの関わりを考え、型にはまらない柔軟な発想やワンランク上のクリエイティブな感性が求められるでしょう。今後のJIA協会の発展に期待したいです。

最後に参加する皆様の力が必要となります。JIAの活動は共に参加し、育み発展していきます。この機会にご意見などお聞かせいただき今後の参考にしたいと思っております。お付き合いのほどにも協力願致します。



理事 田中しのぶ
(大阪府)

今年度、初めて理事をお引き受けいたしました。田中しのぶと申します。大阪在住でありながらこの度、理事の任命を頂き大変嬉しいです。

私は美術専門学校を卒業し、印刷会社に就職をしました。印刷業界で身につけたグラフィックデザインの技術は自分にとって掛け替えのないものになりましたが、イラストをやりたいたいという願いは叶わないままでした。

その後、一般企業の事務として3年間の契約勤務をしました。なんと、ここで初めてイラストの仕事に巡り合うのです。

社内の現場の方々のご意見をお聞きし、それらを紙面に反映することに努めました。自分のイラスト入りのポスターを街に掲示頂いた時は、つくるとの喜びと同時に、見る方にも使う方にも喜んで貰えるような絵を描きたいと、深く心に決めたことを覚えております。

クリエイターの仕事の難しさに、なかば気持ちをおぼろげな想いで勤務をした一般企業で、このような気持ちに目覚めさせて頂くことができ、またお客様とのコミュニケーションの勉強もさせて頂き、育てて頂いたと感謝の気持ちでいっぱいです。

勤務後、デザイン事務所を設立しようと思いをいたしました。今年で2周年を迎えます。まだまだ駆け出しで未熟者であり、イラストレーターとして活動したい割に作品もなかなか増えず、思うように活動できずにいた昨年、東京の展示会



で、大好きなイラストレーターさんにお会いでき、その方はJIAの会員の方でお話を伺うことができました。大阪に帰ってきてすぐに入会の申請をさせて頂きました。

この一年、JIAの会員の皆様のご活躍や、作品を拝見させて頂くと同時に、イラストの仕事がこんなに世の中で求められているのだと実感いたしました。また、巡回展でご参加の皆様を来場者様に見ました。素晴らしい作品を来場者様に見て頂くという担当者の方々の姿勢も素晴らしいと、協会展には是非参加をしたいと思います。

この度、私がご任命頂きましたのは、「日本イラストレーター年鑑2015」の任務です。今年初掲載させて頂きましたが、今でも営業ツールとしての活躍もしております。この年鑑が様々な場所に配布されているのですから、ポर्टフォリオの役目もしてくれているのだと思います。

皆様の素晴らしい作品を沢山ご掲載し、お仕事で役立てて頂くために頑張りたいと思っておりますので、至らぬ点も出てくるかもしれませんがお気軽にご相談頂けましたら幸いです。どうぞ、よろしく願いました。



理事 まるやまえみこ
(新潟県)

JIA会員の皆さま、こんにちは。二期目の理事を務めさせて頂くことになりました「まるやまえみこ」です。よろしく願いました。

デザイン制作業界で働き始めて29年が経ちました。フリーランスになって23年が経過しましたが、個人の力というのはいつの時代になっても弱いものです。やはり組織に所属していることで得られる安心感というものの必要性を感じJIAの会員に登録したのは今から6年前です。

昨年は初理事として、「2014年版日本イラストレーター協会年鑑」を担当させて頂きました。皆さまの営業ツールとしてお役に立っていますでしょうか？

私は10冊受け取りましたが、すでに手元の残数は3冊しかありません。頻繁に仕事を頂くお取引先にはご挨拶代わりに差し上げました。初めて仕事を依頼いただいた制作会社には「お送りしてもよろしいですか？」と一言掛けてからお渡ししています。自分にとっても、皆さんにとっても、年鑑が仕事に繋がるきっかけになることを願っております。

さて、今年度は新企画として昨年より動き出している、mini巡回展の新潟会場担当として、主に活動をさせていただきます。もともとこの企画は、いとう良一理事が発案した、東京会場でのみ行う予定の作品展でした。しかし、企画内容を拝聴したところ、その規模と作品展示方法に手間がかからないということで新潟でも展示をさせて頂きたいかと私の



ほうから声を掛けさせて頂いた、巡回展に発展いたしました。

プロのイラストレーター作品を鑑賞できるということは、地方ではなかなかない機会です。趣味で描いている絵と、プロの絵のクオリティの違いを、ぜひ肌で感じて欲しいというのが、地方へ向けての私の想いです。

では、この企画に参加していただいたイラストレーターの中には、地方巡回において何をメリットとして用意することができたらどうか、と、真剣に悩みました。

所詮、一人の力は小さく、大きなものを動かすことなど容易なことではないので、地域での協力者（業界の人たち・新聞社・フリーペーパー・個人の付き合いなどなど）を頼り、告知に勤しんでいる最中です。ビジネスチャンスに繋げるといふより純粋に作品の魅力を感じてもらい、協会の名前を広め、イラストレーター個々の名前を覚えて頂くという目標にしています。

まだまだ前を向いて歩んでいる最中ですが、振り返るとやはり仕事は人との出逢いにつぎと年を経るごとに思いを強くしています。皆さまの良い出逢いの一助になれるよう活動して参ります。

任も増してきました。そこで私は十五年間続けてきた会社の運営を後進に任せ、退社して、日本イラストレーター協会の運営を専門的にやるようになったのです。

私はそのような経験を通して、イラストレーターの権利を守り、フリーのイラストレーターが安心して働ける環境づくりにする必要性を感じていました。そんな理由から日本イラストレーター協会は設立するにいたしました。設立当初は会社経営をしながら片手間で、活動を続けていきましたが、だんだんと会員も増え、百名を超える頃になると片手間で活動できる状況ではなくなってきました。

JIAの会員になってから長い方はご存知かと思いますが、私は以前イラストの制作会社を運営していました。その頃は年間数千円の売り上げがありました。それから、沢山の仕事に困ってしまいました。それだけ多くの仕事を受注していると、たまにはトラブルに巻き込まれてしまうこともありました。裁判にまでなってしまうケースもいくつかありました。イラストレーターは仕事の流れから考えると末端に位置しますから、そんな時にはどうしても不利な状況におかれてしまうケースが多いのです。

私が一九九九年四月に日本イラストレーター協会を設立してから、今年の四月で十五周年を迎えました。今までやってこられたのはコツコツと真面目に活動をしてきた私自身の努力と、私を支持して支えて下さった会員皆様のおかげだと感謝しています。



理事長
蟹江隆広
(東京都)

私が理事に望むのは「一・ちゃんと仕事して下さい」「二・私利私欲にはしらないで下さい」と非常にシンプルなものです。私はこれからも後進の理事を育てつつ、会員の皆さんと拘わりながら、楽しく気分よくライフワークとして、JIAの活動を続けていければ幸いです。マナーのいい、人に不愉快な想いをさせない善良な会員の皆さん、これからもよろしくお願ひいたします。

私はコーディネートという仕事を通して、皆さんの作品にふれる機会も多く、皆さんの作品から刺激を受け、私自身の制作活動も充実させたいと考えるようになりました。そろそろ会の運営を後進に任せてもいい頃だと考えています。ところがなかなか「この人なら任せても大丈夫」だと思える人が見つかりません。せっかく十五年間大事に育ててきた会ですから、簡単につぶされてしまつては困るのです。

日本イラストレーター協会は営利目的の団体ではありませんので、活動しても最低限の手数料しか頂きません。それが「良質のサービスを提供する」というJIAのモットーを支える為の基本となります。その頃はただ一人で活動していましたが、あれもこれも全部一人でやるしかなく、自分自身の制作活動のほとんどを犠牲にしました。



2013年度 会計報告(2013年1月1日~2013年12月31日)

支出の部

荷造運賃	130,921
水道光熱費	180,533
旅費交通費	204,745
通信費	180,902
広告宣伝費(年鑑印刷代、会場費)	1,624,841
接待交際費	57,640
福利厚生費	101,003
消耗品費	322,841
地代家賃	1,200,000
雑費	75,860
事務局人件費(2名)	3,840,000
理事報酬(コンペ、協会展、会報)	594,370
アルバイト料(協会展スタッフ)	34,000
コンペ審査員報酬(4名)	60,000
コンペ賞金	430,000
年度賞賞金	30,000
イラストレーターに支払い	6,326,452
租税公課(消費税など)	761,600
総支出	16,155,708

収入の部

売り上げ(イラスト制作費)	8,963,804
年会費継続(386名)	2,316,000
コンペ入選者の入会(27名)	162,000
その他入会(73名)	803,000
コンペ出品料	1,188,000
協会展出品料	213,000
年鑑参加費	1,224,600
雑収入	75,644
総収入	14,991,648

前年度より繰り越し Δ 1,039,522円
 今期計上黒字 Δ 1,164,060円
 来年度に繰り越し Δ 2,203,582円
 2013年度 退会者 108名
 継続 386名
 2013年度 新規入会者 100名
 2012年12月31日会員数 486名
 ※2013年度における特別事由
 日本イラストレーター協会年鑑の印刷代を2012と2013の2回分支払った。

二〇一三年イベント

一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇一三を出版



A4フルカラー144ページ
初版1,200部
収録作家128名
販売価格1,050円(税込)

直販もしておりますので、
購入ご希望の方は日本イラストレーター協会事務局までメールでご連絡ください。
(送料無料)
info@jpn-illustr.com

六月 会報N0.9発行



※目次

- P.1 表紙
- P.2 理事挨拶
いとう良一 内野僚子
- P.3 理事挨拶
聖~Mina~ まるやまみこ
- P.4 理事長挨拶と2012年度の会計報告
- P.5 JIA会員特典と会員規約と入会のご案内
- P.6 2012年度のイベント報告
- P.7 2012年度と2013年前期のイベント報告
- P.8 JIAの歩みと2013年のイベント(予定)

六月 第十四回インターナショナル・イラストレーション・コンペティション



最優秀賞作品

作家名:ekoD Works福澤貴之

作品名:Chu-Lip miniature -Full Moon-

【全体評】

このコンペに対する知名度ががますます上がってきて、多くの方達の注目を集めるようになってきました。昨年に続き、SNSによる一般投票が話題になった成果だと思えます。それに加えFacebookでの広告やその他ネットを遠しての広報活動の効果が出たようです。最初に審査員の方で絞り込む訳ですが、SNSでのポイント獲得数に差が出過ぎるという問題点もありますので、そのあたりは今後の審査における課題です。

十月 第九回日本イラストレーター協会展(第十四回イラストコンペ入選作品展)
出品して頂いた皆さん、ポストカードを提供して頂いた皆さん、来場して頂いた皆さん、ありがとうございました。



出品者数 55名
出品作品数 103点
来場者数 292名

■出品して頂いた皆様(敬称略)

青山清香 安那 いえがも 伊藤道郎 いとう良一
内野僚子 表 供美 和遥キナ 蟹江隆広 白沢恵美子
すずきかずたか せきあゆみ 田井中未来 高橋和会
高橋有紀 長谷川直也 トミヤマジュンコ Reiko Moriya
まるやまみこ 聖~Mina~ 美内 吉田 蛭 若林やすと
渡邊ちよんと (以上JIA会員)

c.tom 阿蘇品哲郎 一条拓矢 開楽智治
上谷知沙子 木村智博 牛田息吹 児玉美紀
さかい蔵人 城台宏典 杉山容子 滝川真由美 たけまさ
てきとうかきお 中塚理恵 なかのまりの NONKO 西嶋由魚
羽田和雄 林俊江 林幸奈 福澤貴之 麓 紗輝 堀木陽一郎
豆沢 みきこ mitaka 宮城彬瑚 みるち モリケンイチ
lunariko (以上コンペ入選者)

十二月 国際共同製作絵本ポンポ・イン・ジャパニ展に参加しました。

ラファエル・ポンポは、
コロンビアの国民的作家です。



2008年に修好関係樹立100周年を迎えたコロンビアと日本の間の、更なる文化交流に向けた思いの証として、在日コロンビア共和国大使館のイニシャティブによる絵本の国際共同製作プロジェクト「ポンポ・イン・ジャパニ」が実施されました。





【Illustrator of the year 2013】

作家名: 菊池 潤

- クライアント名:
NTTコミュニケーションズ(株)
- 使用媒体: ブースの装飾

集計で一番ポイントが高かったのはNTTコミュニケーションズ(株)の作品ですが、参考のため出品作品を3点ともアップしました。どの作品も確かな技量を感じますし、クライアントのニーズに的確に応えた作品だと思います。個性的な作品ではないですが、他のアーティストとは違い、イラストレーターの仕事はクライアントのニーズに応えることが重要です。

二月 イラストレーター・オブ・ザ・イヤー二〇一三発表



A4フルカラー136ページ
初版1,200部
収録作家113名
販売価格1,500円(+消費税)

発行日2014年1月20日
Amazon他で販売、お近くの書店でも注文できます。
直販もしておりますので、購入ご希望の方は日本イラストレーター協会事務局までメールでご連絡ください。
(送料無料)
info@jpn-illust.com

当協会が発行する年鑑は、2007年から電子版としてスタートしましたが、イラストを探している多くのクライアント様からの強いご要望にお応えして、2010年からは書籍版による出版を始めました。これにより当協会会員の作品を手軽に持ち運べ、プレゼンテーションなどの際、その場でのご提案が容易にできるようになりました。当協会では、このことがさらに多くの仕事につながるものと確信しております。



【最優秀エディトリアルイラスト賞】

作家名: いたう良一

- クライアント名: リンダパブリッシャーズ
- 使用媒体:

単行本「大空では毎日、奇蹟が起きている。
～JALのスタッフだけが知っている心温まるストーリー～」



【最優秀映像イラスト賞】

作家名: ふわこういちろう

- クライアント名: NHK
- 使用媒体: 動画

http://www.nhk.or.jp/kokugo/ohanashi/index_2013_006.html



【最優秀グッズイラスト賞】

作家名: いのうえ蜜笑

- クライアント名:
株式会社
ファインステージ
- 使用媒体:
ファンクラブ
コロッケ公式グッズ



【最優秀広告イラスト賞】

作家名: 安那

- クライアント名: GMO
クリック証券株式会社
- 使用媒体: 雑誌広告
(2013年9/21、10/21、11/21、12/21、
2014年1/21発売の日経マネー、
ダイヤモンド ZAi、ネットマネー、
FX攻略、2013年12/1発売のマネーポ
ストに掲載)

日本イラストレーター協会の歩み

- 一九九九年 四月 設立
四月 ホームページの開設
- 二〇〇〇年 一月 JIA通信を開始
六月 第一回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇〇年度賞
- 二〇〇一年 六月 第二回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇一年度賞
- 二〇〇二年 六月 第三回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇二年度賞
- 二〇〇三年 六月 韓国出版美術協会と交流会を開催
六月 第四回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇三年度賞
- 二〇〇四年 六月 第五回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇四年度賞
- 二〇〇五年 五月 第一回日本イラストレーター協会展
六月 第六回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇五年度賞
- 二〇〇六年 一月 第一回会報発行
五月 第二回日本イラストレーター協会展
六月 第七回イラストコンペ開催
十二月 二〇〇六年度賞
十二月 日本イラストレーター協会年鑑をCDで作成
- 二〇〇七年 一月 第三回会報発行
三月 第四回ZEN展に参加
五月 第三回日本イラストレーター協会展
六月 第八回イラストコンペ開催
六月 大阪で交流会(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)
十一月 第二十六回デザインフェスタに参加
十二月 二〇〇七年度賞
- 二〇〇八年 五月 第四回日本イラストレーター協会展
六月 第九回イラストコンペ開催
七月 第十五回東京国際ブックフェアに参加
八月 第九回イラストコンペ入選作品展
十二月 二〇〇八年度賞

二〇〇九年 一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇〇九ダウンロード開始
五月 第五回日本イラストレーター協会展
六月 第五回会報発行
六月 第十回イラストコンペ開催
八月 第十回イラストコンペ入選作品展
十二月 二〇〇九年度賞

二〇一〇年 三月 日本イラストレーター協会年鑑二〇一〇を出版
六月 第六回会報発行
六月 第十一回イラストコンペ開催
八月 第十一回イラストコンペ入選作品展
十月 第六回日本イラストレーター協会展
十二月 二〇一〇年度賞

二〇一一年 一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇一一を出版
六月 第七回会報発行
六月 第十二回イラストコンペ開催
八月 第十二回イラストコンペ入選作品展
十月 第七回日本イラストレーター協会展
十二月 二〇一一年度賞

二〇一二年 一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇一二を出版
六月 第八回会報発行
六月 第十三回イラストコンペ開催
十月 第八回日本イラストレーター協会展
十二月 二〇一二年度賞

二〇一三年 一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇一三を出版
六月 第九回会報発行
六月 第十四回イラストコンペ開催
十月 第九回日本イラストレーター協会展
十二月 二〇一三年度賞

二〇一四年 一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇一四を出版
四月 新理事の就任
六月 第十回会報発行
六月 第十五回イラストコンペ開催
十月 第十回日本イラストレーター協会展
十二月 二〇一四年度賞の作品募集

二〇一四年イベント

- 一月 日本イラストレーター協会年鑑二〇一四を出版
四月 新理事の就任
六月 第十回会報発行
六月 第十五回イラストコンペ開催
十月 第十回日本イラストレーター協会展
十二月 二〇一四年度賞の作品募集